

居住地	倉吉市	年代	40代	本市のとの関係	在住
意見が二つあります。					
<p>①復元をすることにより、多目的に利用（ラグビー・サッカー・グラウンドゴルフなど）できるスペースが狭小化されていること。→歴史文化財とスポーツ文化財の共存のため、多目的に活用できるスペース（芝生・平坦）をなるべく広く取ってほしい。</p> <p>②グラウンド中央やや北寄りに管理道があり、これもまた、活用スペースの狭小化の原因となっていること。→排水のためなら、もっと北側、あるいは西側へ移動しても構わないのでは？と思います。</p> <p>文化・芸術施設は感性を高めたり、見聞を広げるためにはとても大切なものだと思います。そして、今までその場所（大御堂廃寺跡）で出来ていたこともとても大切なことだと思います。文化・芸術施設の横で老若男女がイキイキと運動・スポーツをしている姿を新しい美術館から眺める。その景色はとても素晴らしいものだと思います。都会には無い、田舎ならではの倉吉ならではの総合文化・芸術施設にしていきたいと心から願います。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。基壇等（建物の基礎部分）の復元により整備前と比較して、芝生部分は減少しますが、様々な用途にご利用いただくことは可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>管理道は、維持管理のための史跡にとって必要な施設です。位置については、景観的なことなどを配慮しながら、今後県立美術館PFI事業者等と協議を重ねながら決定していきます。</p> <p>側溝については、当初はパブリックコメント募集時の中間案に示した管理道に合わせて設置することとしていました。現存する側溝の位置から北に10m動かし、史跡の利用に配慮して約2%の表面勾配とした現在の案が、最大限北側に寄せることができる位置となります。</p> <p>この整備基本計画は、史跡のこういったところに価値があるのか、その歴史的な価値を皆さまに確実に伝えていくためには、どのような整備を行えばよいか検討するものです。皆さまに歴史的な価値をご理解いただけますよう、啓発に努めていきます。</p>					

居住地	鳥取市	年代	50代	本市との関係	在勤
<p>【意見】</p> <p>美術館整備と併せて、廃寺跡復元整備を実施することについては賛成しますが、平坦な、芝生広場スペース（スポーツ、イベントが開催可能な広さ）確保をお願いしたい。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、廃寺跡は <ol style="list-style-type: none"> 1) スポーツの場（ゲートボール、サッカー等） 2) イベント会場（食のみやこ等） 3) 市民の憩いの場（キャッチボール等家族の憩いの場、ジョギング）等で愛されている場所でもありますので、文化、スポーツ、市民生活の共有の場となるよう、文化限定の施設整備とならないようお願いしたい。（平坦な芝生スペースの確保） ・ 又、美術館整備に伴うラグビー場移転の条件に、廃寺跡で子供達のラグビー教室の場を確保することが、市との約束事項となっていると、ラグビー関係者から聞いております。 <p>ラグビーに、限定する必要は無いと思いますが、市の中心部でスポーツ活動のできる広い芝生のスペースは市民の財産として残す必要があると感じております。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡あり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。現在の大御堂廃寺跡は、仮整備として芝生広場という状態になっていることもあり、様々なイベント、スポーツにご利用いただいております。今回の整備では、基壇（建物の基礎部分）を整備するため現在に比べてスペースは減少しますが、基壇等の部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外では、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要となりますが、芝地であり、様々な用途に利用をしていただくことは可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p>					

居住地	倉吉市	年代	40代	本市との関係		在住	
<p><意見></p> <p>歴史文化財とスポーツ文化財の共存のため、多目的に活用できるスペース（芝生・平坦）をなるべく広く取ってほしいです。未来中心や図書館とあわせた、『複合文化（学びと表現・美術・歴史・スポーツ）』施設として考えた方が、より発信力があると思いますし、間接的に財政負担を負う市民、県民に対して実際に利用していただく頻度が上がり、税の使途として、より説明できるのではないかと思います。</p> <p><理由など></p> <p>1. 盛り土や一部の復元はコストや今後の発展（利用頻度）と合わせても、時代遅れだと感じます。 同じように盛り土や一部復元した国分寺跡や、斎尾廃寺跡・別所古墳跡の現状を踏まえて整備するべきと思います。あわせて大栄お台場はある程度の利用者がいることについて、分析・比較・検討・結果を説明していただきたいです。「盛り土や復元が文化財保護になる」は説明としてわかりにくいです。国分寺跡とお台場の違いは交通の利便性だけではないと思いますが、いかがですか。</p> <p>2. よりARやVRの活用を行えば、多目的スペースを確保できると考えます。 史跡に立った視点（大きさを感じる）と美術館テラスの視点（俯瞰・概観できる）の両方を把握できるのでは。例えば、レイヤーして撮影できる機能を付ければ、活用頻度を上げられるかもしれませんし、より広い多目的スペースを確保できると考えます。</p> <p>3. 管理道をさらに北側あるいは西側へ移動することで、多目的に使えるスペースが確保できる。 管理と排水のためなら、もっと北側、あるいは西側へ移動しても構わないと思います。また、美術館来訪者の安全確保のためなら、管理道自体の幅を拡大して、北側ぎりぎりに設置する方法もあると思います。これらを上記、1. 2. とあわせて行えば、より効果があがるのではと考えます。</p> <p>4. 苦しい財政状況は分かっていたこと。国・県・市の都合もわかっていたことなのは。 厳しいことを申し上げますが、そもそも、このような状況になることは予測できたことと思います。現状、『できる範囲のこと』をやるために、『できない理由』を探しているように感じます。国の持ち物である史跡を一番に、県の施設である美術館が次。その次は（あたりまえですが）経費。既存施設の利用者や既存施設との整備後のよりよい活用はそのまた次。【何をつくるか】【いかに安くするか】ありきで、【どう使うのか】【コスト・パフォーマンス：この整備により、何がどれくらい良くなるのか】が感じられないです。他の候補地もあった中、せっかく決まったことなのですから、なおさら【美術館ができてよかった】と多くの人を感じられる大御堂廃寺跡整備事業になってほしいと願っています。</p>							
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。整備後は、基壇、遺構の平面表示部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外は、安全面等からある程度の制限は必要ですが、芝地であり、基本的には、様々な用途に利用が可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>盛り土にて基壇（建物の基礎部分）を整備することは、直接目に行うことができるため、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で表現することと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、より効果的な史跡としての発信を行うことができます。</p> <p>管理道は、維持管理のための史跡にとって必要な施設です。位置については、景観的なことなどを配慮しながら、今後県立美術館PFI事業者等と協議を重ねながら決定していきます。</p> <p>側溝については、当初はパブリックコメント募集時の中間案に示した管理道に合わせて設置することとしていました。現存する側溝の位置から北に10m動かし、史跡の利用に配慮して約2%の表面勾配とした現在の案が、最大限北側に寄せることができる位置となります。</p> <p>コスト面も考慮しながら、皆さまに歴史的な価値をご理解いただけますよう、普及啓発に努めていきます。</p>							

居住地	東伯郡琴浦町	年代	60代	本市との関係	在勤
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>私は倉吉市に於いて中部地区の子供たちに、サッカーを指導するクラブの代表を務めております。</p> <p>当クラブは単独の小学校の生徒だけでなく、広く中部全域から集まって来ますので大御堂廃寺は非常に便利なおうえ、その広さ故に県の内外のチームも沢山呼ぶことが出来ていました。</p> <p>またその試合当日にはキッチンカーにも来て頂き、参加する子供達やその保護者からも好評をいただいております。</p> <p>その大御堂廃寺の基本整備計画が出来たというので、興味を持って読み、練習や試合をイメージしながら考えてみました。</p> <p>まず驚いたのはその広さです。</p> <p>以前はピッチ3面が取れたものですが、その半以下になりかなり狭くなってしまいます。</p> <p>沢山呼べていた県外のチームも呼び辛くなり、経験の場が失われそうです。</p> <p>その他にも色々と希望がありますので、練習や試合に必要な最低限のモノを書き出しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ジュニア用ピッチ2面分の広さ。(ピッチ1面=70m×50m) * 放課後練習に使用できる、照明器具。(10月～3月までの半年間、日没が早いので利用できません。) * 夏場の日除けとしての、樹木。 * 練習・試合用具の保管に必要な、プレハブの小屋。 <p>将来を背負って立つ子供達へ、大切な場となる練習や試合の会場確保を是非ともお願い致します。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。</p> <p>現在までは、仮整備の状態であるため、広大な芝生広場を多くのイベント・スポーツに利用されてきました。整備後は、基壇、遺構の平面表示部分(主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む)以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要となりますが、基本的に様々な用途に利用が可能です(ただし一時的な利用に限る)。</p>					

居住地	倉吉市	年代	50代	本市との関係	在住
<p data-bbox="180 253 563 286"><ご意見の内容とその理由></p> <p data-bbox="180 302 560 333">子供がサッカーをしています。</p> <p data-bbox="180 349 1458 380">現在大御堂サッカー場で練習させていただいておりますが、練習場所がなくなってしまうと困ります。</p> <p data-bbox="153 396 1500 477">たださえサッカーのレベルは東部、西部に劣っており、サッカー場が無くなると益々レベルの差が開いてしまいます。中部地区のサッカーのレベルを保つためにもサッカー場の設置を希望します。</p> <p data-bbox="153 492 1500 573">最低でもサッカーコート2面(ジュニア用70m ×50mを2面)・用具の保管をするためのプレハブ小屋・平日練習を行うための照明器具・夏場の日除け対策としての樹木の設置をお願いしたいです。</p> <p data-bbox="153 589 1458 620">ピッチ2面有ることによって沢山のチームを呼ぶことが出来、中部サッカーのレベル向上に役立つと思います。</p> <p data-bbox="153 636 1500 716">また、10月～3月の半年間は日没が早く、放課後に練習する事が出来ませんでしたので照明の設置を希望します。</p>					
<p data-bbox="153 781 261 813"><回答></p> <p data-bbox="153 828 1500 909">大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。</p> <p data-bbox="153 925 1500 1005">史跡の価値を伝えていくための整備ですので、地中の遺構を確実に保存していくため、遺構を破壊する恐れのある樹木の植栽、設備の設置は行いません。</p> <p data-bbox="153 1021 1500 1193">現在までは、仮整備の状態であるため、広大な芝生広場を多くのイベント・スポーツに利用されてきました。基壇、遺構の平面表示部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要となりますが、基本的には、様々な用途に利用が可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p>					

居住地	倉吉市	年代	60代	本市との関係	在住
-----	-----	----	-----	--------	----

<ご意見の内容とその理由>

解説サインは下記写真のように伽藍配置や建物の配置図を有したものとする。

【理由】文章だけでは伽藍配置や建物の配置がわからないため。



<回答>

説明版などの解説サインは、ご提示していただいている解説板の写真のように、文章だけではなく、写真や図を用い、また分かり易い表現方法、多言語表示を行っていきます。

そのほか、立体模型をはじめとする物理的なもののほか、AR等のデジタルコンテンツの使用により視覚的にイメージしやすい方法を計画しています。

居住地	倉吉市	年代	60代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>小学生でも理解できる解説サインとする。</p> <p>【理由】従来の大人向けの解説サインであった。小学生用と大人用が併設されていればベスト。</p>					
<p><回答></p> <p>図や写真等を用い、また文章表現においても、あらゆる人々に分かり易い表現となるよう工夫していきます。</p>					

居住地	倉吉市	年代	40代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>1. サッカーコートを作ってほしいです。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、小学校1・5年生の子供が、大御堂でサッカークラブの練習を行っています。倉吉市内で練習する場所が、屋外は大御堂しかありません。大御堂でサッカーが出来なくなったら、鳥取県中部地区のサッカー人口は減少してしまうのではないかと心配しています。また、どこでサッカーをやればよいのか、不安に思っています。 <p>2. サッカーコート横に保護者・観覧者用の日よけ対策用樹木・ベンチを設置してほしいです。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6～10月は練習中の選手・保護者・観覧者の熱中症対策が必要だと感じました。 <p>3. サッカーの練習道具を入れるプレハブ小屋を設置してほしいです。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習に必要な、組み立て用の小型サッカーゴール・サッカーボール・コーンは、1台の車で運搬ができないため、小屋が必要だと思います。 <p>4. 照明器具を設置してほしいです。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の練習で日没後にボールが見えなくて練習ができないためです。市の防犯上の観点からも照明が点灯することで、よい影響があるのではないかと思います。 					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。</p> <p>史跡の価値を伝えていくための整備ですので、地中の遺構を確実に保存していくため、遺構を破壊する恐れのある樹木の植栽、施設・設備の設置は行いません。ただし、来訪者の休憩施設となる可動式のベンチなど地下遺構を破壊しない便益施設については設置します。</p>					

居住地	倉吉市	年代	60代	本市との関係	在住
-----	-----	----	-----	--------	----

<ご意見の内容とその理由>

当計画案は、復元的に構造物を建設するという手法で、伯耆国分寺跡、法華寺畑遺跡の整備と軌を一にしたものです。したがって、それら前例について、その成果の検証がなされ、今回の整備案の裏付けとなっていないければなりません。市民や利用者からのアンケート、利用状況、経済効果など、検証資料の明示を求めます。

また、大御堂廃寺跡が市街地中心部にあること、文化施設や新設の美術館と隣接していること、IT技術の進化など、前述遺跡と異なる条件を持つことを考慮すれば、その整備のコンセプトも異なるべきではないでしょうか。従来型の手法に甘んずるのではなく、モデルケースになりうるような先進的なコンセプトでの遺跡利用を図っていただきたいものです。

個人的な提案です。

広大な芝生空間を維持します。そこは、現実の人々が、日常の遊び場やイベント会場として集い楽しむ空間であり、その同じ空間に周辺の展示とAR技術により古代人の生活を浮かび上がらせます。そして、それが美術館を引き立てる広大な庭園としても機能します。

安易な構造物を作ることは、用途を限定し、限られた趣向の人向けの空間にしてしまい、却って賑わいを損なうことになりかねません。多目的な空間を維持することで、多様な人々が集い、遺跡も美術館も文化施設もより活用されることになるとおもいます。

(パブリックコメントの募集期間が極めて短いのは、儀礼的に手続きをすませたい意図だと勘ぐられてしまっていますが、本当のところいかがでしょうか?)

<回答>

大御堂廃寺跡は、史跡です。この整備は、史跡としての価値を伝えるために行う整備です。

整備基本計画の前段となる保存活用計画策定時には、大御堂廃寺跡利用団体、地域自治組織にアンケートを行い、今年度この整備基本計画策定の際には、美術館をはじめ、利用団体等との協議を重ねてきており、今後も継続していきます。

基壇を復元する等、遺構を表現することの効果十分に検討し、決定したものです。基壇を整備することは、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で整備することと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、より効果的な史跡としての発信を行うことができます。

基壇、遺構の平面表示部分(主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む)以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です(ただし一時的な利用に限る)。

倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの環境で、史跡として整備するこの機会を大御堂廃寺跡の価値を伝えるチャンスとし、SDGs(持続可能な開発目標)の理念に基づき、啓発に努めていきます。史跡を史跡として認識していただき、これまで興味を持ってこられなかった方についても、関心を寄せていただけるようこれまで以上に表現・発信方法など工夫していきます。

(パブリックコメントは、当初より行うことを予定しておりました。できるだけ長い期間を設けたかったのですが、短い募集期間となってしまいました。申し訳ありません。しかしながら、多くのご意見をいただきましたこと感謝申し上げます。)

居住地	倉吉市	年代	30代	本市との関係		在住	
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>現在大御堂廃寺跡はとてもきれいな芝生広場であり、市民が気軽に遊べる場所、そしていつもオレンジ色の練習着を着たサッカーチームの子供たちが練習や試合をしている姿をよく見かけます。指導者と子供たちが未来の夢に向かって一生懸命練習に取り組む姿は本当に素晴らしいものであり、いつも元気を貰っています。</p> <p>本史跡は大変貴重な文化遺産であり、美術館との一体活用による効果も見込めるとは思います。しかし、現在使用しているサッカー少年たちの育成の場を奪うことにも危機感を覚えます。</p> <p>私は30代前半の市民であります。遺跡建造物のようなものを作られても1回見たらそれで終わりです。我々若者は正直興味はありません。過去の素晴らしい史跡はあくまで過去のものであり、これからの未来を担う若者、子供たちの負担になるのであれば、まずは未来を担う子どもたちの事を優先すべきであり、史跡についても維持・管理しやすく、後世に伝えやすい形が望ましいと考えます。</p> <p>よって、子供たちの育成の場を維持しつつ、史跡のすばらしさを伝える為に以下を提案致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 本史跡がいかに貴重で価値あるものであるのか、平面図や立体模型、説明板を設置。 2、 上記のものは美術館に近いほうに設置し、美術館に来館した人たちに見てもらう。 3、 可能であれば、美術館の一画に本史跡の遺物を展示する。 4、 芝生広場は再整備し、子供たちの為にサッカー場を整備し、行政も一体となりサッカー振興をする。 5、 サッカー場は2面程度確保し、ナイター用の照明や日除けの設置を希望する。 <p>【補足】</p> <p>秋～冬は日没が早く練習が出来てないので照明を、夏場は日除けがないので設置してあげてください。サッカーは世界一競技人口が多いスポーツです。環境を整備し、うまく地域振興に役立ててもらいたいです。美術館は年配の方が多く訪れると想定し、史跡について周知するとともに、美術館側から見た跡地を子供たちのサッカー場として過去と未来をつなぐ場として有効活用していることをアピールできると考えます。</p>							
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。基壇復元をはじめ、平面図や立体模型、AR等を用い、多くの人々にその価値を伝えるための整備を行います。基壇、遺構の平面表示部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>大御堂廃寺跡は、歴史教育を行う場として貴重なものです。多くの価値観が溢れる現代ですが、史跡が存在する場で、史跡の価値を伝え、若者をはじめ、多くのあらゆる年代の人々に興味を持っていただけるよう、また新しい価値観を持っていただけるよう、啓発に取り組んでいきます。</p>							

居住地	倉吉市	年代	50代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>整備事業計画に反対です。</p> <p>史跡大御堂廃寺跡が史跡であり、その価値の周知、継承の必要性は理解しています。しかし、その手法として、今回示された整備事業の計画にどれだけの意味があるのか疑問があります。</p> <p>現在の廃寺跡は、ラグビー、サッカー、グラウンドゴルフ等で、子供から高齢者までの多くの市民の利用があるだけでなく、屋外で行う大型のイベントでも有効に活用されてきました。利用の多さの理由は、交通の便のいい市街地に広い芝生の広場があるということにあり、そこに大きな価値があります。</p> <p>今回の整備事業によって、現状以上の利用が見込めるのであればいいのですが、私にはそうは思えません。整備事業は、市街地にある広い芝生の広場という価値を損なうものであり、現在の利用者数を減ずることは間違いありません。整備をして利用者を減らすことが市民のためになるのでしょうか？</p> <p>史跡の価値を周知したければ、そうした多くの利用者に対して行うこともできたはずですが、これまでそうしたことがなされたとは寡聞にして知りません。逆に、これまでの利用者に対して史跡の価値を周知してこなかったことの不作為について問いたいくらいです。</p> <p>遺構の保存は現状でもなされており、現在の広場としての利用が、史跡としての価値を損なってきた訳ではありません。今回の整備事業が当時の姿の完全復元であれば、また違う価値が生まれるかもしれませんが、広場としての価値を損なうような一部復元整備に何の意味があるのか理解できません。</p> <p>必要なのは、遺構を確実に保存し、その価値を市民に周知することです。</p> <p>遺構の保存ができているのであれば、現在の芝生広場としての利用を損なうことなく、史跡の価値を周知するような整備は可能なはずで。</p> <p>従って、今回の整備事業計画を白紙に戻し、現状の芝生広場を残す整備方法の検討を求めます。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は仮整備の芝生広場の状態であったため、多くの方にイベント・スポーツ等に利用されてきました。この度、本格整備に入るにあたり、本来の姿である史跡として整備します。整備後は、全面的に利用禁止ということではなく、基壇、遺構の平面表示部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外は、安全面等考慮しある程度の制限は必要となりますが、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの環境で、史跡としての価値を損なうことなく史跡として整備し情報発信することは、大御堂廃寺跡の価値を効果的に伝えることができる大きなチャンスと考えます。</p> <p>これまで、倉吉博物館・倉吉文化財協会・地区公民館などと連携し、講演会や講座・各種文化財ウォークを開催してきました。また文化財パンフレット（文化財さんぽ）冊子の発行、大御堂廃寺跡で開催されるイベント等の会場名の表記には「大御堂廃寺跡」を使っていたり要請するなど、様々な方法で啓発を行ってきました。</p> <p>これまで以上に、情報発信方法の工夫、様々な施設・団体と連携を図り、多くの方に大御堂廃寺跡の史跡としての価値を認知していただけるよう、普及啓発に取り組んでいきます。</p>					

居住地	北栄町	年代	60代	本市との関係	
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>大御堂廃寺跡地の利用について、現在の計画（素案）を拝見し、意見を申し上げます。</p> <p>市営ラグビー場と大御堂廃寺跡地の広い芝生は、倉吉市の市民は勿論ですが、鳥取県中部、そして鳥取県民の大切な交流の場としてこれまで利用されてきました。</p> <p>遺構を作ることは反対では有りません。国民の税金で整備されるものですから、まずは市民、そして中部圏民、果ては県民、国民に広く利用されること、こどもも含め教育や産業の発展に役立つように整備すべきです。</p> <p>1. ラグビーやサッカーの交流や次世代を育てる指導の場、食のみやこや森林組合のイベント、老人クラブのグラウンドゴルフの活動など倉吉市に人が集まるひろい芝地を残しましょう。</p> <p>徒歩で移動できる市営陸上競技場、宿泊施設、体育館、プール、未来中心との倉吉市の賑わい創設の利点を捨てることは考えないで下さい。</p> <p>2. よって、遺構の凸凹が芝地に半分も出現するのには反対です。</p> <p>VRとかARの最新技術で遺構を表現しましょう。</p> <p>来た人に想像する力が育つし、倉吉市の考えしだいではVR・ARの技術がわかる・駆使できる人材を育てることにつながり、企業のソフト開発やハード技術発展が見えてきます。</p> <p>3. 芝地は防災施設として活用できるほか、維持管理は、鳥取県の芝地に係る産業へ寄与します。</p> <p>4. 管理道路は県立美術館との境界のなるべく北側に移して土塁を設けましょう。県立美術館から見える景色は訪れた人に、安らぎと潤いを与えるでしょう。</p> <p>5. 以前の曖昧な使用料の徴収はやめましょう。きちんと取って維持管理費に使いましょう。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。整備後は、安全面等からある程度の制限は必要ですが、復元部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外では、芝地であり、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。また整備後においても、芝地を災害時の一時的な避難場所として利用いただくことができます。</p> <p>基壇（建物の基礎部分）は、往時の建物が建っていた部分に復元するものです。基壇を復元する（現地を実際に目に見える形で整備する）ことと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、より効果的な史跡としての発信を行うことができます。</p> <p>管理道は、維持管理のための史跡にとって必要な施設です。位置については、景観的なことなどを配慮しながら、今後県立美術館PFI事業者等と協議を重ねながら決定していきます。</p> <p>側溝については、当初はパブリックコメント募集時の中間案に示した管理道に合わせて設置することとしていました。現存する側溝の位置から北に10m動かし、史跡の利用に配慮して約2%の表面勾配とした現在の案が、最大限北側に寄せることができる位置となります。</p> <p>現在、大御堂廃寺跡の芝生広場は無料でご利用いただいています。過去においても史跡地内にて使用料を徴収したことはありません。史跡外である史跡に隣接した駐車場については、「倉吉市行政財産使用料条例」に基づき使用料を徴収しています。史跡内の使用料の徴収については、今後検討していきます。</p> <p>史跡を史跡の姿として整備することで、大御堂廃寺跡の史跡としての価値を多くの皆さまにお伝えし、史跡として認知されていくことで、歴史的観点からも倉吉市の賑わいに寄与できるよう普及啓発に取り組んでいきます。</p>					

居住地	倉吉市	年代	50代	本市との関係		在住	
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>ラグビー場及び大御堂廃寺跡はかなりの広さになります。スペース的には十分あるはずですので、県中部における交流の場とするには美術館だけでなく、広く文化・スポーツ憩いの拠点の場所として利用することが、得策と考えます。新たに美術館以外の箱もの（復元物等を含む）を作るのはそれなりの予算を計上する必要があり、財政的に負担は否めません。その点でも今回、勇んで全てを変えていくのではなく、現在のままの残す部分はしっかり残し（手をつけず）て、様子を見ながら今後の整備等にも活用できるようにすべきだと考えます。（個人的には文化とスポーツの拠点として多くの人が今までと同様にスポーツも楽しめる場でもあってほしい。休日等には廃寺跡の芝生広場に老若男女がゲートボールや球技等で楽しんでいるのをよく見かけます。この整備によってその人たちの場所を奪うことになるのは賛成できません。）美術館の建設は決まっても、果たしてどのくらい市民や県民が利用し、誇りとなるようなスポットになるのか、またどうしたらそのような場所になるのか、未知数の部分はかなりあります。金銭的なことも考慮しながら、無理のない範囲で市民県民に寄り添った、大御堂廃寺跡の開発を中長期的に行うことが大切と考えます。</p>							
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。整備後は、安全面等からある程度の制限は必要ですが、復元部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外では、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの環境を活かし、コスト面も考慮しながら大御堂廃寺跡の価値を効果的に伝えることができ、その価値を多くの方に享受していただくことができるような整備、そして普及啓発に取り組んでいきます。</p>							

居住地	倉吉市	年代	40代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>小中学生へのサッカー指導に20年以上携わり、50歳を目前に自身もサッカーを楽しむ倉吉市在住者です。誠に勝手ながら、多目的ゾーンの活用に関する意見が中心となりますが、子どもたちが将来にわたってふるさとへの想いを大切にしてくれることを願い、応募いたしました。</p> <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サッカーコート2面（ジュニア用70m × 50m）の確保 ②用具を保管するための施設 ③夜間練習を行うための照明設備 ④日除け対策としての樹木等 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市の中心部にサッカーコートを2面確保することで、多くのサッカーチームが参加できる大会を開催することができます。当地における公式大会の開催は困難ですが、これまで県内外のサッカーチームとの交流の場としてその役割を果たしてきました。 ・また、倉吉市内に照明設備が整ったサッカーコートが無く、特に10月～3月の半年間は日没も早いことから、多くのサッカーチームが放課後の練習時間確保に苦心していました。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、倉吉市では歴史的資源（重要伝統的建造物群）を活用した観光まちづくりの推進に向けた動きが活性化しており、県立美術館を訪れた観光客やサッカーを通じた県内外の交流人口の宿泊等による相乗効果が見込まれます。 ・「文化とスポーツが共存するまちづくり」を市民が実践する場として、当地が活用されることを望みます。 					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。基壇復元をはじめ、平面図や立体模型、AR等を用い、多くの人々にその価値を伝えるための整備を行います。基壇、遺構の平面表示部分及び主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>ふるさとへの想いを大切に作る心を育て、持ち続けていけるような方法は様々なものがあります。この整備により、年代を問わず多くの人々に大御堂廃寺跡の価値を伝え、愛郷心を育てていけるような活用がなされるよう、普及啓発に取り組んでいきます。</p>					

居住地	岡山市	年代	本市との関係	サッカー交流
<p data-bbox="178 264 544 293"><ご意見の内容とその理由></p> <p data-bbox="178 313 1501 439">大御堂廃寺跡地で今後も<u>サッカー活動が十分に出来る環境整備</u>を是非ともお願いしたいと思います。ラグビー場が移転し、大御堂廃寺跡地も活動スペースが縮小し、サッカー活動のスペースが大幅に減少すると聞き、交流の場が無くなるのではと危惧しています。</p> <p data-bbox="178 456 1501 535">とても良い場所にある交流の場であり、交流活動継続が困難になることはとても残念です。今後の交流活動を更に活発にしたいと考えている事もあり投稿させていただきました。</p> <p data-bbox="178 600 1501 678">私は、兵庫県、岡山県のサッカーチーム（小学生、中学生）に関わり永年に渡り倉吉に行っています。又、交流の紹介もしています。</p> <p data-bbox="178 696 1501 775">交流の場はラグビー場、大御堂廃寺跡地が中心です。中部地区のチームをはじめ鳥取県東部、西部、島根県のチームと交流します。</p> <p data-bbox="178 792 1501 871">例えば、明石市のチームは、夏には、サッカー以外の学びも求めて倉吉市で合宿し有意義なものになっています。</p> <p data-bbox="178 889 1501 1014">倉吉スポーツセンターに宿泊し、食事は未来中心にバイキングの店があり子供には好評です。市営プールも利用しています。宿泊場所、サッカー場、プール、食事等、すべてのものが宿泊場所から徒歩で移動できる位置にありとても便利です（徒歩での移動は指導上、有意義なものがあります）。</p> <p data-bbox="178 1032 1501 1158">花火大会も近くで開催されるので楽しんでます。海水浴には車で行きますが子供たちは大喜びです。随行の父兄も含めて安心して協力して頂き喜んでもらっています。これらのことがあることが継続できる理由だと思います。</p> <p data-bbox="178 1176 1501 1254">新たに美術館が出来ることにより、史跡大御堂廃寺と併せて、更に学びの機会が出来るものと楽しみに思っています。</p> <p data-bbox="178 1319 756 1348">このように絶好の環境が倉吉市にはあります。</p> <p data-bbox="178 1366 1433 1395">今後の交流のためにもサッカー活動が十分にできる整備になることを是非ともお願いするものです。</p> <p data-bbox="1390 1413 1445 1442">以上</p>				
<p data-bbox="153 1460 261 1489"><回答></p> <p data-bbox="153 1509 1501 1682">大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。安全面等からある程度の制限は必要ですが、整備後においても復元部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外では、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p data-bbox="153 1700 1501 1872">令和7年春には、史跡に隣接し県立美術館が開館します。史跡に隣接してこのような集客力のある施設が建設されることは全国的にみても例がなく、大御堂廃寺跡を史跡としてアピールすることができる絶好の環境立地と言えます。このチャンスを活かし、美術館とともに学びなどの様々な相乗効果を生み出せるような活用を行っていきます。</p>				

居住地	琴浦町	年代	50代	本市との関係	倉吉市の施設利用者
<p data-bbox="188 250 552 282"><ご意見の内容とその理由></p> <p data-bbox="158 347 1453 425">史跡大御堂廃寺跡地は芝生が施植された環境であり、グランドゴルフ及びサッカーのスポーツ活動等の多目的な用途として中部地区等の近隣住民に利用されている。</p> <p data-bbox="169 492 256 521">【意見】</p> <p data-bbox="158 539 1453 618">整備基本計画の多目的ゾーンに計画されている管理道の位置を美術館側に移動させて、多目的ゾーンを広く確保し、色々な活動ができるようにしていただきたい。</p> <p data-bbox="169 683 256 712">【理由】</p> <p data-bbox="158 730 1453 857">多目的ゾーンを分断する管理道が施道されると有効面積が小さくなり、スポーツ活動等の利用範囲が狭くなるため。(管理道を移動することにより、例えば、サッカーの試合会場としても利用できるものと思われる。)</p> <p data-bbox="1425 875 1509 904" style="text-align: right;">以上</p>					
<p data-bbox="158 925 268 956"><回答></p> <p data-bbox="158 974 1509 1193">大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。現在までは、仮整備の状態であるため、広大な芝生広場を多くのイベント・スポーツに利用されてきました。基壇、遺構の平面表示部分及び主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、整備後においても基本的には、様々な用途に利用することが可能です(ただし一時的な利用に限る)。</p> <p data-bbox="158 1211 1509 1290">管理道は、維持管理のための史跡にとって必要な施設です。位置については、景観的なことなどを配慮しながら、今後県立美術館PFI事業者等と協議を重ねながら決定していきます。</p> <p data-bbox="158 1308 1509 1435">側溝については、当初はパブリックコメント募集時の中間案に示した管理道に合わせて設置することとしていました。現存する側溝の位置から北に10m動かし、史跡の利用に配慮して約2%の表面勾配とした現在の案が、最大限北側に寄せることができる位置となります。</p>					

居住地	倉吉市	年代	50代	本市との関係	在住
<p>【意見】</p>					
<p>大御堂廃寺跡整備基本計画（中間案）に反対です。変更望みます。</p>					
<p>【理由】</p>					
<p>現在、大御堂廃寺跡は市民の憩いの場として、特に週末には多くの市民等が集い、イベント・スポーツ等を楽しんでいる。<u>広場を分断する基壇は不必要</u>である。</p>					
<p>②遺構の表示が必要であれば、芝生の色を変えて表示 ③学びの場が必要であれば、VR・ARで対応することで十分である。</p>					
<p>基壇が造成されることにより、イベント・スポーツ等が制限されると、市民生活に不利益が生じ、人が集まらなくなる（現状は中心市街地という立地から、人々が集まりやすく、多目的に利用されている）※市民等が何処でイベント・スポーツ等を継続しとげいくのか？</p>					
<p>史跡としてエリア（土地）であることは理解できるが、現状（芝生広場）を継続することで、史跡として保存され、人々が集い、憩いの場となる。</p>					
<p>学び・活用に関しては、VR・ARを整備し、市民のみならず、美術館来館者に広く学びの場を提供し、視覚的・聴覚的に学習できる環境を整備すべきである。</p>					
<p>史跡だけの観点ではなく、未来中心・図書館・リス公園跡地・県立美術館など「歴史・文化・芸術・スポーツ・集い・憩い・食」が一体となった、倉吉を代表するエリアとしての検討を望む。</p>					
<p>まずは、史跡の重要性などの普及活動に力を注ぎ、市民機運が醸成されてから、ハード整備に向かうべきだと考える。</p>					
<p><回答></p>					
<p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。イベント広場・スポーツ施設としての整備はできません。</p>					
<p>基壇を復元する等、遺構を表現することの効果十分に検討し、決定したものです。盛り土にて基壇を整備することは、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で整備することと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、視覚的にも聴覚的にも、より効果的な学びの場となるような整備を行います。</p>					
<p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの立地を活かし、史跡として整備し情報発信することは、そして大御堂廃寺跡の価値を効果的に伝えることができる大きなチャンスです。</p>					
<p>これまで、倉吉博物館・倉吉文化財協会・地区公民館などと連携し、講演会や講座・各種文化財ウォークを開催してきました。また文化財パンフレット（文化財さんぽ）冊子の発行、大御堂廃寺跡で開催されるイベント等の会場名の表記には「大御堂廃寺跡」を使っていたりよう要請するなど、様々な方法で啓発を行ってきました。</p>					
<p>これまで以上に、情報発信方法の工夫、様々な施設・団体と連携を図り、市民機運を醸成し、多くの方に大御堂廃寺跡の史跡としての価値を認知していただけるよう、普及啓発に取り組んでいきます。</p>					

居住地	鳥取市	年代	60代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <p>史跡大御堂廃寺跡整備計画について、御意見を申し上げます。 本計画について、以下の2点について検討していただきたい。</p> <p>① 県立美術館以外の都市は基本的に、芝生地として残し、 1,000人以上が集う大きなイベントスペースとする。 (農業祭や食の祭典・子ども対象にしたイベント・様々な式典など) 倉吉市の中心であるこの場所に広いイベントスペースを残す ことに大きな意義があります。</p> <p>② 本史跡の地下遺構を確実に保存・継承するためには、 平らな芝生地として残すことが合理的であり、市民の憩いの 場所として利用できる、一石二鳥の効果があります。 また、本史跡を体現していく方法としては、過去にあった ような復元的な再現方式は世界的な視野からみれば、 充分とは言えません。 日本を含め、世界中のどこからでも、バーチャルで体験できる 方法を取り入れることを提案します。 これからの展示は、VR(仮想現実)とAR(拡張現実)を 併せて使う視覚情報の伝達が主流です。VRとARを 駆使した展示こそが倉吉市の実力を示すことではないでしょうか！ 以上、様々申し上げましたが、是非御検討いただきますよう お願い申し上げます。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。イベント広場・スポーツ施設としての整備はできません。</p> <p>現在までは、仮整備の状態であるため、広大な芝生広場を多くのイベント・スポーツに利用されてきました。基壇、遺構の平面表示部分及び主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、整備後においても、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です(ただし一時的な利用に限る)。</p> <p>基壇を整備することは、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で整備することと、現代の技術であり、主流となっているAR等の技術を融合させることで、より効果的な史跡としての発信を行うことができます。</p> <p>地下遺構を確実に保存・継承し、次世代にその価値をも分かり易く確実に伝えていくため、この整備を行うものです。</p>					

居住地	倉吉市	年代	70代	本市との関係	在住
<p>「未来中心と美術館を結ぶ架け橋的な公園整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シンボリックな植樹と花壇 ○遊歩道 ○ベンチ等の設置 ○遊具 ブランコ 滑り台 ○コンパクトなグラウンドゴルフ場 ○上品な駐車場と駐輪場 <p>※その他施設は一切必要なし。</p> <p>利用価値もあまり無い物は設置しない。 なんでも欲張るとすぐに飽きてしまう。 シンプルが一番である。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であるため、史跡の価値を伝えるため史跡として整備します。地中の遺構を確実に保存していくため、遺構を破壊する恐れのある樹木の植栽、施設・設備の設置は行いません。ただし、来訪者の休憩施設となる可動式のベンチなど地下遺構を破壊しない便益施設については設置します。</p> <p>基壇、遺構の平面表示部分及び主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分以外は、安全面等考慮し、ある程度の制限は必要ですが、整備後においても、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p>					

居住地	倉吉市	年代	30代	本市との関係	在住
<p><ご意見の内容とその理由></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、跡地に建造物は作らないでほしい。芝生広場は残してほしい。 2、サッカー場を整備する。 3、ナイター照明や屋根付きベンチ設置する。 4、平面図や立体模型、説明板を設置する。 <p>私たち市民が気軽に運動できる、市内中心部にある唯一の芝生広場を残してほしいです。サッカー少年の練習場所にもなっています。昨年は県2位という優秀な成績を残したと聞いてます。未来を担う子どもたちが走り回れる場所は残すべきです。過去の素晴らしい史跡と子供たちの育成の場として共存できる形での活用を希望します。</p>					
<p><回答></p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。安全面等からある程度の制限は必要ですが、整備後においても復元部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外は、芝地であり、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>説明版などの解説サインは、文章だけではなく、写真や図を用い、子どもたちにも分かり易い表現方法、また多言語表示を行っていきます。そのほか、立体模型をはじめとする物理的なもののほか、AR等のデジタルコンテンツの使用により視覚的にイメージしやすい方法を計画しています。</p> <p>遺構を破壊する恐れのある樹木の植栽、施設・設備の設置は行いません。ただし、来訪者の休憩施設となる可動式のベンチなど地下遺構を破壊しない便益施設については設置します。</p> <p>子どもたちが裸足で走り回ってもケガをしにくいよう、基壇復元部分及び遺構中心部分以外は芝地とし、手洗い・足洗い場の設置を検討しています。次世代を担う子どもたちが活動できる場とし、子育て世代の来訪を促していきます。</p> <p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの恵まれた立地を活かし、史跡を史跡として活かし、幅広い年代の人々が訪れる場として整備を行い、史跡と未来を担う子供たちの育成の場が共存できる形の活用を行っていきます。</p>					

居住地	倉吉市	年代	60代	本市との関係	在住
<p>＜ご意見の内容とその理由＞</p> <p>大御堂廃寺で従来のようにサッカー等の活動が出来ることを希望します。</p> <p>① 「管理道」の位置がゾーンを分断しており練習、試合の活動スペースが確保できません。 最低限の要望として管理道の位置を美術館側に移動させてください。</p> <p>② そもそも多目的ゾーンの広さが従来の半分で十分な広さが確保されていません。 遺構を復元する必要があるのでしょうか？とても疑問に思います。先見性のある手法を各地で見受けますので再考願います。</p> <p>ラグビー場と併せ、大御堂廃寺跡地は倉吉市のサッカー（小学生、中学生が中心）が利用する重要な拠点です。県内の東部、西部との交流の場でもあり、また、県外からも宿泊含めた良好地として喜ばれて交流を行う重要拠点になっています。周辺施設（スポーツセンター宿泊、プール利用、未来中心での食事等）の利用もあり経済活動にも寄与しています。</p> <p>中心市街地に賑わいをもたらしている要因になっています。</p> <p>美術、史跡に興味を持ち学ぶ文化意識とスポーツで健康維持、健全な心身育成を目指すことは、決して相反する人で構成されるものではありません。共に大切にしなければなりません。新たに美術館が出来ることには期待感がありますが、この計画では、喪失感しかありません。賑わいの要因は確実に減ります。</p> <p>史跡を学び今を思うことは大切で私も好きですが、今を生きる我々は未来に向けてのアクションが大切です。子供から高齢者までが活き活きと運動する姿は、未来の倉吉のあるべき方向性を示唆し活力・勇気に繋がるものと思います。「未来中心」の意味がそこにあるのではないのでしょうか。</p> <p>人口減少は避けられません。今後の税収減は明白です。遺構復元の箱物的なものに税金を使うより、人を活かすことに税金を使ってください。人を育て、喜びがあればリターンは必ず生まれると思います。「倉吉未来中心」を倉吉市の未来への意思を共有するイメージエリアに考えてください。この計画では未来がみえません。</p> <p>以上</p>					
<p>＜回答＞</p> <p>大御堂廃寺跡は史跡であり、その歴史的価値を伝えるための整備を行います。スポーツ施設としての整備はできません。整備後は、安全面等からある程度の制限は必要ですが、整備後においても復元部分（主要遺構が集まる回廊に囲まれた部分を含む）以外では、基本的には、様々な用途に利用をすることが可能です（ただし一時的な利用に限る）。</p> <p>管理道は、維持管理のための史跡にとって必要な施設です。位置については、景観的なことなどを配慮しながら、今後県立美術館PFI事業者等と協議を重ねながら決定していきます。</p> <p>側溝については、当初はパブリックコメント募集時の中間案に示した管理道に合わせて設置することとしていました。現存する側溝の位置から北に10m動かし、史跡の利用に配慮して約2%の表面勾配とした現在の案が、最大限北側に寄せることができる位置となります。</p> <p>遺構を復元することは、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で整備することと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、視覚的にも聴覚的にも、より効果的な学びの場となるような整備を行います。</p> <p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの環境で、史跡として整備し情報発信することは、大御堂廃寺跡の価値を効果的に伝えることができる大きなチャンスと考えます。</p> <p>史跡を史跡の姿として整備することで、大御堂廃寺跡の史跡としての価値を多くの皆さまにお伝えし、史跡として認知されていくことで、歴史的観点からも倉吉市の賑わいに寄与できるよう普及啓発に取り組んでいきます。</p>					

居住地	倉吉市	年代	60代	本市との関係	在住
<p>＜ご意見の内容とその理由＞</p> <p>遺構を整備する必要は無いと思います。史跡の説明はAR, VRを中心とした案内で十分です。人口減により税収が減少するこれからの時代に向けて、費用対効果が望めそうにない遺構を造り維持することに税金（例えば市税外としても）を使うことに賛成できません。</p> <p>そもそも先例として伯耆国分寺跡、法華寺畑遺跡に費用をかけて復元構造物が整備されていますが、倉吉市にどうかされているか疑問です。倉吉市内でも県内でもその存在さえ知らない人が多いのが現実だと思います。税金投入、整備後の利用状況、経済効果を検証されているのでしょうか？賑わいが無いのはまぎれも無い事実です。維持費は必要です。</p> <p>大御堂廃寺跡は、中心市街地にあるから、美術館が出来て人が来るから、PFI事業者を使うから等が判断理由とすると、すべてが他責で期待だけです。自己責任根拠を示してください。</p> <p>今の時代、税金が潤沢にある自治体でも復元構造物はやらないのではないのでしょうか。更に、コロナで世相が穏やかで無い現状で税金（例えば市税外としても）投入する優先順位の高い内容には思えませんし必要性も無いと思います。</p> <p>基本計画案を見るに整備目的が非常に曖昧です。美術館と一体化した共有空間整備とは何を思えば良いのですか？まったく意味不明です。美術と史跡は文化系ではあるが全く異なるものです。イベント開催は毎月、毎週等継続してあるもののでしょうか？一体化した共有空間イベントが頻繁に出来るのでしょうか？何をどれ位やり集客をどれ位見込むのか示してください。数年後の閑散としたイメージしか湧きません。賑わいはどれほどのことが期待できるか疑問です。市役所が企画実行をやるのですか？PFI事業者に期待丸投げでは駄目だと思います。事業者は投資効果に責任をとる成果報酬では無いと思います。契約費用を貰い契約事項を実行するだけです。</p> <p>史跡、美術について否定をしている気持ちは全くありません。私も興味が多いほうです。倉吉市に多くの人が集まり賑わいが増すことを期待し希望するものです。より「暮らしやすい街」になり、市民が「将来の倉吉」に活力を感じるエリアにして欲しいと願っています。以上、整備計画についての意見とさせていただきます。</p>					
<p>＜回答＞</p> <p>基壇を整備することは、あらゆる人々に公平に史跡であることの情報を発信できる手段であると考えます。現地を実際に目に見える形で整備することと、現代の技術であるAR等の技術を融合させることで、より効果的な整備を行うことができます。</p> <p>整備は、大御堂廃寺跡の価値を、史跡として確実に保存・継承していくことを前提とします。①地下遺構の保存を確実に、②史跡の価値を分かり易く伝えるための整備（ハード整備ソフト整備の工夫）、③公開活用するための整備（まちづくりに寄与することができ、多様な人々が憩い集うための便益・ガイダンス設備の工夫など）、④周辺環境を活かした整備（県立美術館など回遊性を高める工夫など）といった大きく4つを柱としています。</p> <p>倉吉の中心市街地に位置し、令和7年春には隣接して美術館が建設されるこの立地を活かし、史跡として整備し情報発信することは、そして大御堂廃寺跡の価値を効果的に伝えることができる大きなチャンスです。</p> <p>県立美術館3階テラスには、大御堂廃寺跡の往時の姿を映し出すAR機器や解説板を設置、その他、案内版には双方の訪問を促すための案内、空間を共有した整備を行います。県立美術館については、鳥取県の所管となりPFI事業者にて運営されますが、ハード・ソフト両面の連携をしながら、活用の相乗効果を図っていきます。</p> <p>これまで以上に、情報発信方法の工夫、様々な施設・団体と連携を図り、多くの方に大御堂廃寺跡の史跡としての価値を認知していただけるよう、このエリアがともに発展していけるよう普及啓発に取り組んでいきます。</p>					